

とらえい

4月号



発行者 ● 社会福祉法人桐栄会
 ● 青森市浪岡大字柳沢字村元330番7
 TEL 0172-62-9201
 FAX 0172-62-9019
 編集 ● 広報「とらえい」編集委員会

素敵な車をありがとうございます。



デイサービスセンターみずぎ玄関前にて

日本財団から 福祉車両をいただきました

デイサービスセンターみずぎでは、利用者の送迎に小型バスを使用していますが、冬期間になると積雪のため道幅が狭くなり、バスの運行に支障が生じていました。そこで昨年、日本財団に送迎用福祉車両の助成をお願いしたところ、このたびの助成が決定し、去る3月27日に贈呈式が執り行われました。

新しく配備された車両は、10人乗りで車椅子にも対応した4WD車です。今後は、積雪時でも利用者の自宅前まで送迎できるようになるため皆様にはこれまで以上に安心して当センターをご利用いただけるものと思っています。

日本財団には、心から感謝申し上げます。

事務局



音楽療法とは!?

音楽療法とは、音楽の持つ効果を理解し、意識的に音楽を活用して参加者により良い変化をもたらそうとするものです。

音楽は、人の心の深い部分に直接働きかける。脳への刺激・社会性の向上となり。歌唱や演奏を行う事は勿論、音楽を聴く事も効果的です。

施設でのレクリエーションには殆ど参加されない利用者の方、定期的に音楽療法を行うことによって、その時間だけは参加し、楽器も自主的に鳴らしてくれるようになった事もあります。自分や周りが出来ないと言っていた事がだんだん出来る様になったり、参加者の「自分らしさ」を取り戻すきっかけになります。

S・A
 思います。



社会福祉法人 桐栄会の事業

- | | | |
|---|---|--|
| <p>浪岡事業所</p> <p>【介護保険指定事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> 特別養護老人ホーム ゆうゆう荘 介護老人福祉施設 短期入所生活介護 介護予防短期入所生活介護 デイサービスセンター悠悠 通所介護 介護予防通所介護 認知症対応型通所介護 介護予防認知症対応型通所介護 浪岡在宅介護支援センター 外出支援サービス <p>○電話(代) 0172-62-9101</p> | <p>常盤事業所</p> <p>【介護保険指定事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> 特別養護老人ホーム ちゅうちゅう 介護老人福祉施設 短期入所生活介護 介護予防短期入所生活介護 デイサービスセンターみずぎ 通所介護 介護予防通所介護 在宅介護支援センターあずさ グループホームいこい 認知症対応型共同生活介護 介護予防認知症対応型共同生活介護 ケアハウスすずか 在宅介護支援センターあずさ <p>○電話(代) 0172-69-5355</p> | <p>鶴ヶ坂事業所</p> <p>【介護保険指定事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> 特別養護老人ホーム つるがさか 介護老人福祉施設 短期入所生活介護 介護予防短期入所生活介護 <p>○電話(代) 0172-62-1051</p> |
|---|---|--|



◎ 編集後記

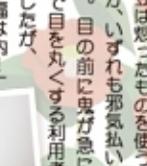
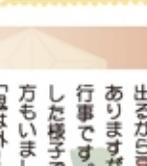
隣で今日も腕時計の雑音を見ているお父さん。

腕時計ばかり載っている雑誌もずっと何年も買っている。中のムーブメントは日本製で、文字盤と中身は違うんだ。本人に尋ねなくても、いかにいい時計がたくさんあるか熱く語ってくれます。そんなある日、仕事を終わって帰ってくる。どこからか規則正しい聞き慣れない音が聞こえてきました。その音のする方をたどっていくと、見慣れない時計と手前には腕時計がありました。手巻きなんだ。と腕時計をこり、竜頭を巻いていました。柱時計と腕時計を交互に見て、とても楽しそう。新しいおもちゃを手に入れた子供のようにした。 A・E

※「とらえい」掲載の個人に関する情報は、ご本人の許可を得て使用させて頂いております。



常盤事業所の
新職員さん



これがだましの手口

3月9、10日の二日間、青森県消費生活センターの生活相談員、三浦誠一郎氏を講師に迎え、「悪質商法の被害に遭わないために」と題し、講演会を開催しました。

最近が高齢者を狙った詐欺まがいの電話や訪問販売も多く、皆真剣に耳を傾けていました。何種類もの悪質商法があることに驚き、また、言葉巧みな話術でだます手口を、寸劇や金多豆蔵のDVDを観ながらの解説で、より深く理解できたようでした。

利用者からは「青森県ではどのような手口が一番多いですか」と「犯罪者はどのような罪になるのですか」と「自ら手を挙げて質問されました。M.W.「とても勉強になりました」との感想が多く聞かれ、有意義な時間を過ごしました。



持養つるがさか

新築車庫完成

平成26年9月より工事がスタート、12月末に待望の車庫(倉庫)が完成しました。鉄筋コンクリート(部鉄骨)で1階は車庫として、2階は倉庫部分となっております。施設の建物と一体感を醸し出す建物となっております。また、2階の窓部分にはスライディングシャッターを取り付けるなど、搬入の便利さを図っていただきました。

車庫の完成により、ご家族の方々にはより施設の近い場所に駐車できるようになったこと、また冬期間では玄関ポーチまで車の乗り入れや、乗り込みが安全にできるようになったことなど、利用者の皆様にはご不便をお掛けしておりましたが、今後は安心感と利便性を確保できましたことを嬉しく感じております。



節分



2月1日に節分の「福を落とす」を執り行いました。豆まきを行いました。福を落とす(厄災の芽が出るから豆は炒ったものを使)等々、節分には諸説ありますが、いずれも邪氣払いや無病息災を願った行事です。目の前に鬼が急に現れるとびっくりした様子で目を丸くする利用者の方もいました。

「鬼は外! 福は内!」と大きなかけ声で豆を投げつけていました。今年も福を内に取り込んで全員が無病息災、ご長寿を願うことができました。



T・M

鶴ヶ坂事業所の
新職員さん



特別養護老人ホームへの入所と利用者負担について

このたび、介護保険法の一部が改正されましたので、その主な内容をお知らせします。

はじめは、特別養護老人ホームへの入所についてです。本年4月から新たに入所される方は、原則として要介護3以上に限定されることになりました。既入所者は除かれます。

次に、利用者負担です。本年8月から一定以上の所得のある方の自己負担が1割から2割へ引き上げられます。また、低所得者の施設利用にかかる食費・居住費負担を軽減する「補足給付」について、一定額を超える予防金等がある場合や世帯分離している配偶者が市町村民税課税の場合は、軽減の対象外となります。

さらに、特別養護老人ホームの多床室に入所されている方々のうち、一定の所得のある方については、現行の光熱水費相当分に加えて室料相当分を居住費として負担することになります。

本年4月に介護報酬が改定され、利用者負担額が変更になりましたが、この制度改正の対象となる方々については、8月に再び変更されることとなります。詳しい事は各事業所にお尋ね下さい。



事務局

デイサービスセンター悠悠 雛人形制作



3月3日の「雛祭り」は、女の子の健やかな成長を願い、美しい雛人形を飾ってお祝いする日本の伝統行事です。

デイサービスセンター悠悠では、3月の第一週目に雛人形製作を行いました。御内裏様と御雛様、三人官女を折り紙で折り、赤や桃色の色とりどりの花も全て利用者の方と一緒に作りました。

最後に、画用紙全体のバランスを考えながら、貼り付けを行いました。迷いに迷ってまた貼り直す方や、直ぐに作業を終え完成させる方…。作業中、利用者の方々の様々な表情を窺う事が出来ました。 J・A



浪岡事業所の
新職員さん



ゆうゆう荘のぞわ保育園 慰問



「わいは、めこいじゃあ」「にんぎょこ(人形)だけんだ」そんな言葉があちこちで飛び交った、1月8日のぞわ保育園園児たちの慰問。入所者の方々は、ひ孫のような子どもたちの姿に目を細めて、見守りながらご覧になっていました。年中さん、年長さんの踊りは堂々としたもので、園児たちは余裕の表情。常に笑顔で楽しそうに、時に優雅に踊り、入所者、職員共々感心しっぱなし。

なかには、「上手だねえ」と終始、感動のあまり号泣してしまう方も……。これには園児たちも驚いた様子! タオルで涙と鼻をかむ姿に、この日一番の園児の笑顔を頂きました(笑)。小さな子ども達の可愛い仕草や笑顔、パワフルさに、元気と勇気をもたらす一日でした。

「来年も待ってるはんでのお〜」 K・T

グループホーム おはぎ作り

3月18日、彼岸の入り当日におはぎ作りを行いました。もち米が炊き上がると、「美味しそうないしてら」と利用者の皆様が集まって来ました。いざ作業に取りかかると、もち米を手際良く丸めてあんであまり、あっという間に完成させていました。職員が作ったいびつな形のおはぎも、利用者の手にかかると一瞬でキレイな形になりました。

うま〜く出来たよ!

完成したおはぎはその場で食べていただき、「やっぱり自分で作ったものは特別美味しい」と終始和やかな雰囲気でした。

O・M



特設ときわ 水木保育園 慰問

1月9日、毎年恒例の水木保育園の慰問がありました。早くから席に着き待っている方が多く、とても楽しみにされていました。園児の歌や踊りが始まると、一緒に口ずさんだり手を動かして楽しい時間を過ごす事が出来ました。

利用者の中には、目をうるませ園児の手を握り「よく来てくれた」と話す方や「今度いつ来てくれるんだべ」と職員に尋ねる方もありました。

保育園の慰問を楽しみにしている利用者の方とても多く、皆様ご満悦の様子でした。このような機会をもっと増やしていきたいと思いました。

K・M

